

		事業担当局	まちづくり局				
計画名	都市再生整備計画 末長宗田地区	都市再生整備計画の計画変更	有	無			
1 制度について	<p>国は全国の都市再生を推進するため平成16年4月に「都市再生特別措置法」を制定した。国の定めた「都市再生基本方針」では、大都市圏や地方都市における都市機能の高度化、地震や交通事故などの解消、安心で快適な都市の実現、自然と共生した持続可能な社会の形成などを目標としている。この法律、基本方針の制定と併せ「まちづくり交付金交付要綱」が制定され、市町村は国の都市再生基本方針に基づき都市再生整備計画を定め、都市再生整備計画に基づく事業に対して、原則40%の交付金を受けることができることとされている。(別紙資料4参照)</p>						
2 評価委員会について	<p>評価委員会の目的 事後評価等が適切に行われたことを中立・公平な立場で確認していただき、意見を求めること、及び今後のまちづくり方策等についても意見を求めることを目的とする。</p> <p>審議事項について ・事後評価原案の公表等の手続きの妥当性及び都市再生整備計画の目標・成果指標の達成度、効果発現要因の分析の妥当性。 ・事業成果、残された課題の整理と、今後のまちづくり方策の妥当性。 (別紙資料4参照)</p>						
3 都市再生整備計画の概要と実施事業(別紙資料1参照)	<p>計画期間 平成16年度～平成20年度</p> <p>全体計画事業費 4294百万円</p> <p>計画の目標 「高齢者等が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができる地域社会の実現に向けて」</p> <p>今後の社会情勢の変化に対応し、高齢者等が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができる地域社会の実現に向けて、老朽化した市営住宅の建替を契機に、高津区全体を対象とした高齢者の身の上や生活などの各種相談に応じ、教養の向上やレクリエーションのための便宜を図る老人福祉センターや高齢社会に対応したシルバー向け単身用及び世帯用の住宅の整備や、障害者が地域で自立して生活するための支援施設の整備を行うとともに、史跡の保存・保護も視野に入れた地域のシンボリックな役割を持つ公園を整備する。</p> <p>併せて、高津区の交通結節点である溝口駅南口周辺を整備すると共に、溝口駅南口から老人福祉センターまでの移動空間となる歩道、市民の交流の場となる集会施設等の整備を進める。また平成19年度の耐震診断に基づき、緊急性の高い市営住宅について耐震改修を進める。</p> <p>計画に位置付けて実施した事業</p> <table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市営末長宗田住宅建替事業(基幹事業) 343百万円 ・ 市営住宅耐震改修事業(新作、明石穂、有馬第一)(基幹事業) 672百万円 ・ グループホーム整備事業(提案事業) 84百万円 ・ 都市計画道路 野川柿生線(久本工区)(基幹事業) 198百万円 ・ 都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線(蟻山坂工区)(基幹事業) 1200百万円 ・ 溝口駅南口歩行者専用通路整備事業(基幹事業) 795百万円 ・ 溝口駅南口バリアフリートイレ整備事業(提案事業) 21百万円 ・ 高津老人福祉・地域交流センター建設事業(基幹事業) 411百万円 ・ 高津老人福祉・地域交流センター地域交流事業(提案事業) 1百万円 ・ 橋中学校グラウンド整備事業 126百万円 ・ 末長宗田公園整備事業(基幹事業) 12百万円 ・ 久本薬医門公園整備事業(基幹事業) 426百万円 ・ 久本薬医門公園整備計画策定ワークショップ事業(提案事業) 4百万円 ・ 末長宗田地区公園活性化事業(提案事業) 1百万円 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td> <p>【安心して暮らせる住環境】</p> <p>【安全で快適な交通環境】</p> <p>【地域交流・コミュニティ形成】</p> </td> </tr> </table>				<ul style="list-style-type: none"> ・ 市営末長宗田住宅建替事業(基幹事業) 343百万円 ・ 市営住宅耐震改修事業(新作、明石穂、有馬第一)(基幹事業) 672百万円 ・ グループホーム整備事業(提案事業) 84百万円 ・ 都市計画道路 野川柿生線(久本工区)(基幹事業) 198百万円 ・ 都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線(蟻山坂工区)(基幹事業) 1200百万円 ・ 溝口駅南口歩行者専用通路整備事業(基幹事業) 795百万円 ・ 溝口駅南口バリアフリートイレ整備事業(提案事業) 21百万円 ・ 高津老人福祉・地域交流センター建設事業(基幹事業) 411百万円 ・ 高津老人福祉・地域交流センター地域交流事業(提案事業) 1百万円 ・ 橋中学校グラウンド整備事業 126百万円 ・ 末長宗田公園整備事業(基幹事業) 12百万円 ・ 久本薬医門公園整備事業(基幹事業) 426百万円 ・ 久本薬医門公園整備計画策定ワークショップ事業(提案事業) 4百万円 ・ 末長宗田地区公園活性化事業(提案事業) 1百万円 	}	<p>【安心して暮らせる住環境】</p> <p>【安全で快適な交通環境】</p> <p>【地域交流・コミュニティ形成】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市営末長宗田住宅建替事業(基幹事業) 343百万円 ・ 市営住宅耐震改修事業(新作、明石穂、有馬第一)(基幹事業) 672百万円 ・ グループホーム整備事業(提案事業) 84百万円 ・ 都市計画道路 野川柿生線(久本工区)(基幹事業) 198百万円 ・ 都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線(蟻山坂工区)(基幹事業) 1200百万円 ・ 溝口駅南口歩行者専用通路整備事業(基幹事業) 795百万円 ・ 溝口駅南口バリアフリートイレ整備事業(提案事業) 21百万円 ・ 高津老人福祉・地域交流センター建設事業(基幹事業) 411百万円 ・ 高津老人福祉・地域交流センター地域交流事業(提案事業) 1百万円 ・ 橋中学校グラウンド整備事業 126百万円 ・ 末長宗田公園整備事業(基幹事業) 12百万円 ・ 久本薬医門公園整備事業(基幹事業) 426百万円 ・ 久本薬医門公園整備計画策定ワークショップ事業(提案事業) 4百万円 ・ 末長宗田地区公園活性化事業(提案事業) 1百万円 	}	<p>【安心して暮らせる住環境】</p> <p>【安全で快適な交通環境】</p> <p>【地域交流・コミュニティ形成】</p>					
4 実施過程について	<p>住民参加プロセス 久本薬医門公園の整備にあたり、市民にとってより身近で使いやすい施設とするため、市民と行政が話し合いを行なう会議(「アートパーク会議」という。)を5回開催し、地域住民と共に整備計画を策定した。整備計画策定への住民参加により、公園への愛着が深まったことや、地域のコミュニティ形成が図られたことにより、久本薬医門公園での市民活動は活発となっている。</p> <p>持続的なまちづくり体制の構築 地域のシンボリック存在である久本薬医門公園の完成記念イベントとして、式典や市民ステージを行うとともに、市民による公園の管理・運営を目的として設立された公園管理運営協議会への公園管理指導を行うことにより、公園における市民の主体的な活動支援を図り、持続的なコミュニティの形成、地域交流の促進を図った。 (別紙資料1参照)</p>						

5 成果の評価・効果発現の整理 (別紙資料2参照)	成果指標の達成状況					
	指標	単位	従前値	目標値	実績値	目標の達成状況
	老人福祉センターの整備率	%	85.7%	100%	100%	達成
	バリアフリー化された住宅の整備数	戸	732戸	751戸	751戸	達成(見込み)
	安全に歩ける歩道の整備率	%	58%	66%	66%	達成(見込み)
	公園における市民活動人数	人	70人 (4公園)	196人 (7公園)	240人 (7公園)	達成(見込み)
	地域交流行事の実施	人/年	638人	約3000人	4,826人	達成(見込み)
	溝口駅南口における歩行環境の満足度	%	26.5%	60%	82.3%	達成(見込み)
	市営住宅の耐震化率	%	45%	55%	55%	達成(見込み)
	グループホーム・ケアホームの定員数	人	16人	32人	32人	達成(見込み)
以上により、全ての成果指標について目標を達成する見込みである。						
6 今後のまちづくり方策	<ul style="list-style-type: none"> ・溝口駅南口歩行者専用通路の完成により、駅前の歩行環境の改善が図られる見込みであるが、駅前広場については十分に整備されておらず、安全な歩行空間が確保されていない箇所がある。本地区を含む高津区については今後も人口増加が見込まれることから、一層の歩行の安全性確保と利便性の向上を図るため、溝口駅南口駅前広場の整備及び駅周辺の放置自転車対策を進める。 ・高津老人福祉・地域交流センターや久本薬医門公園等の公共施設の整備、主要な交通結節点である溝口駅南口駅前の整備等を行ったが、それら公共施設や駅へのアクセス道路の整備が遅れており、安全に歩ける歩行空間が確保されていない箇所がある。整備された駅や公共施設のネットワーク化を図るため、アクセス道路となる都市計画道路の整備を引き続き進める。 ・市営住宅の耐震改修事業により、震度6強で倒壊の可能性が高い市営住宅の安全性を確保したが、震度6強で倒壊の可能性のある市営住宅の耐震対策は完了していない。耐震性の確保されていない市営住宅については、平成27年度までに耐震対策を行う。 ・中学校グラウンドの地域開放や老人福祉・地域交流センターの交流事業、地域住民による公園の管理運営など、いきいきとした魅力ある地域の実現に向けて参加と協働のまちづくりを推進する。 					
	今後のまちづくり方策は、まちづくり交付金事業の実施による成果や効果発現の分析、残された課題の整理に基づき、今後の方向性を提案するものです。					
7 公表について (別紙資料3参照)	<p>事後評価の公表と意見募集について</p> <p>次の方法により事後評価原案の公表及び意見募集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりにて事後評価原案の公表・市民意見の募集について広報(平成20年10月1日発行・544,000部) ・市ホームページに事後評価原案の公表・市民意見の募集を掲載(掲載期間:平成20年10月6日~11月4日) ・各区役所、支所、出張所、連絡所、行政サービスコーナー、高津老人福祉・地域交流センターに事後評価原案の公表・市民意見の募集のパンフレットを配布(配布期間:平成20年10月6日~11月4日・270部配布) <p>意見募集の結果について</p> <p>意見なし。</p>					
	<p>8 今後のスケジュール</p> <p>今後のスケジュール(予定)</p> <p>平成20年12月 国土交通省へ事後評価シートを提出</p> <p>平成21年1月 事後評価の公表(市ホームページに掲載)</p> <p>平成21年3月 フォローアップの実施(見込み値で計測した成果指標について確定値を計測し公表する)</p>					